

パキスタンにおける 包括的母性保健調査

Comprehensive Maternal Health Studies

仲佐 保、宇田山明子、金川修造、小山
内泰代、西田美佐、Ghazala Mahmud、
Batool Mazhar

国立国際医療センター 国際医療協力局
パキスタン医科学研究所

安全なる母性

遠位決定因子

国家保健政策
・ 人材
・ 医療施設

社会経済
・ 搬送手段
・ 連絡手段
・ 衛生環境

女性の地位
・ 教育
・ 栄養
・ 収入
・ 資源へのアクセス
・ 隔離の程度

中位決定因子

アクセスと質

行動と態度

女性の健康と
栄養状態

近位決定因子

妊娠

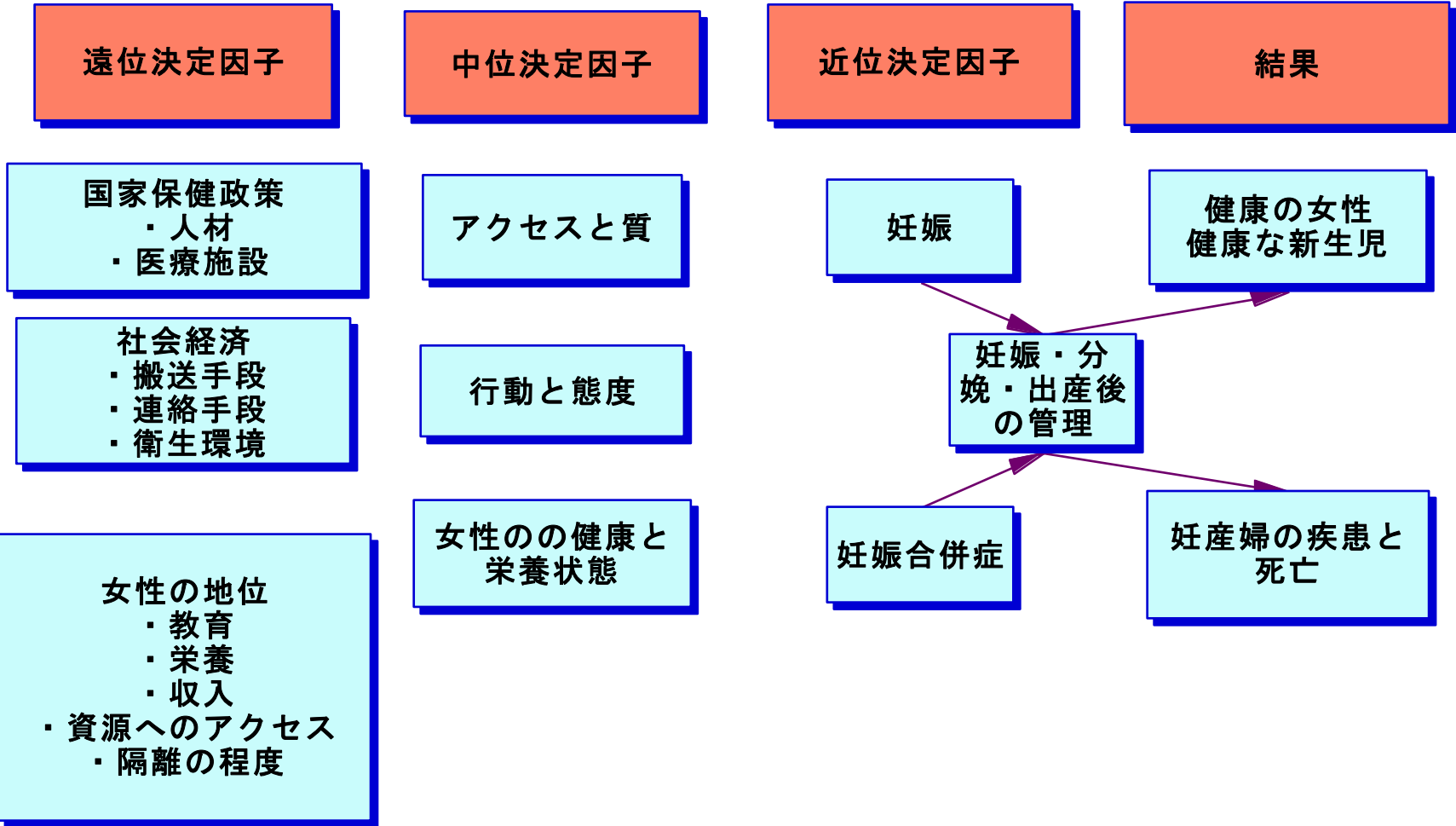
妊娠・分
娩・出産後
の管理

妊娠合併症

結果

健康の女性
健康な新生児

妊産婦の疾患と
死亡



パキスタン母子保健プロジェクト

情報
包括的母性保健調査

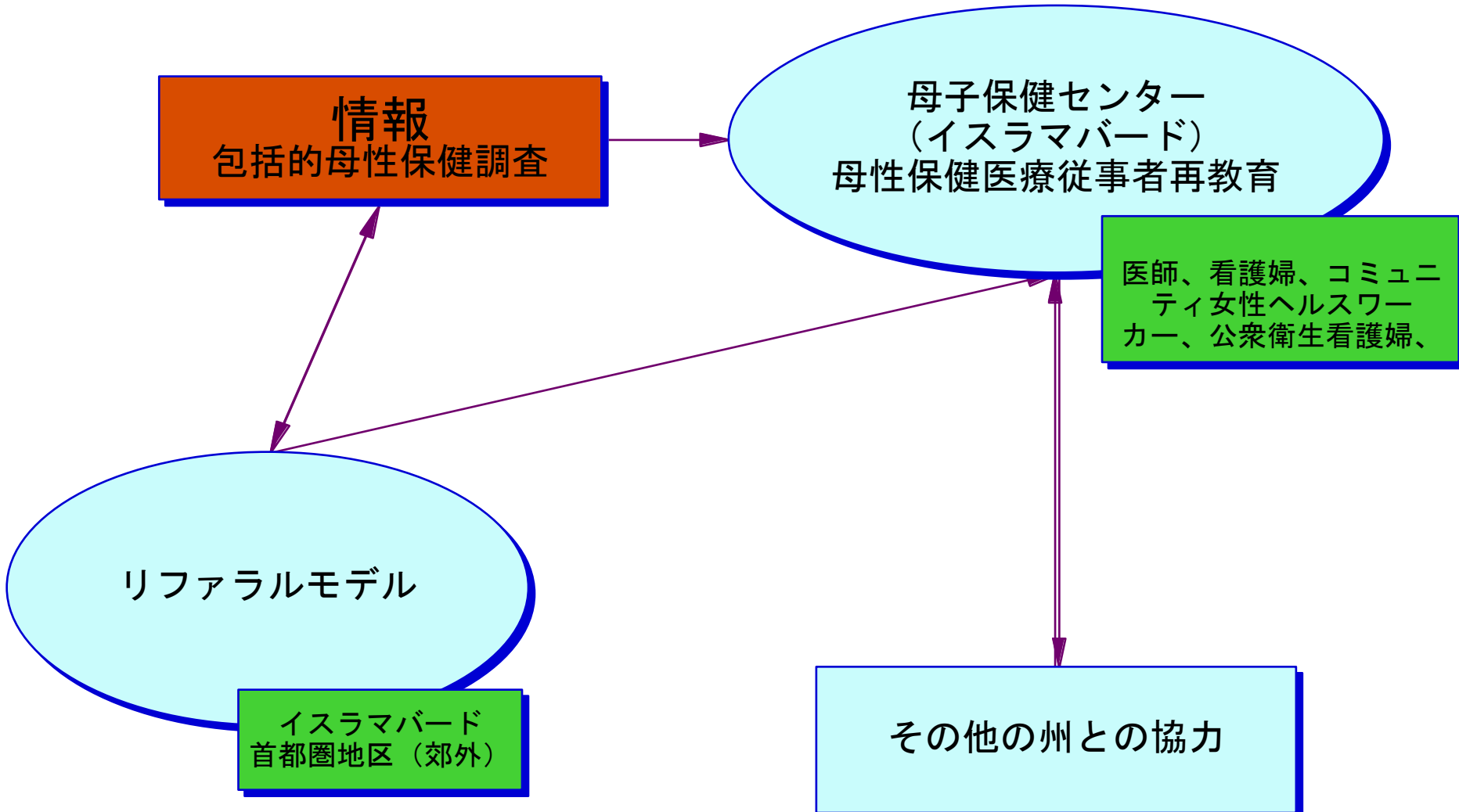
母子保健センター
(イスラマバード)
母性保健医療従事者再教育

医師、看護婦、コミュニ
ティ女性ヘルスワー
カー、公衆衛生看護婦、

リファラルモデル

イスラマバード
首都圏地区 (郊外)

その他の州との協力



パキスタン母子保健プロジェクト

仮に医療施設はあっても、そこにはいるはずの医療従事者が不在であったり、薬剤が無いことから、満足な診療を受けられない。平均の子どもの数が6人のパキスタンの女性にとって、多くは安全であるはずの妊娠・出産は、命をかけた大事業である。パキスタン母子保健プロジェクトでは、妊産婦死亡の軽減を目的として産婦人科医療を担う伝統的産婆、女性ヘルスワーカー（LHW）、公衆衛生看護婦（LHV）、女性医師らへのリフレッシュトレーニングを実施している。

パキスタン母子保健プロジェクト

- 国際協力事業団によるプロジェクト方式技術協力(1996年6月～2001年6月)
- 上位目標:妊産婦死亡の減少
- プロジェクト目標:母性保健医療の人材養成
- 成果:1)調査活動(母性保健情報)
2)トレーニングセンターとしての母子保健センターの確立
3)イスラマバード首都圏地区のリファラルモデルの確立

母性保健調査

1. リファラル病院調査
(イスラマバード首都圏周辺地区)
2. 医療施設調査
(イスラマバード、ノシェラ、アトック)
3. 家庭訪問調査
(イスラマバード首都圏、ノシェラ)
4. コミュニティ調査
(アトック、イスラマバード)

1 リファラル病院調査

Referral Level Hospital Survey (RLHS)

- ・ 1997年1年間における7大病院における妊産婦死亡61例の病院並びに家庭での調査研究(前向き研究)
- ・ 各病院の産婦人科部長に協力を得る。
- ・ 1名の女性の産婦人科医をResearcherとして雇用

RLHS

- Facility Survey Questionnaire
Hospital Based Records
Patients Details, Referral, Causes of deaths
Place of death, Past history, Antenatal Care,
Available facilities
- Community Survey Questionnaire
Verbal Autopsy, Interview to relatives
Their perception of the events, the cause of death,
economic situation, the mode of transport,
distance traveled, factors pertaining to the delay

2 医療施設調査

Health Facility Surveys (HFS)

- ・ 末梢レベルの医療施設から、地区の二次病院まで、計126施設中、82施設のスタッフへのインタビュー

HFS 1

- Health Facility Data
 - Population of catchment area
 - Number of patient
 - Responsible for obstetric patients
 - Obstetric care
 - Referral and transportation
 - Provision of family planning
 - Provision of immunization for tetanus toxoid
 - Available facilities and equipment
 - Accommodation for health care providers

HFS2

- **Interview to Doctors**
 - Designation and qualification
 - Obstetric training
 - Duration of employment
 - Belonging to the district
 - Health facility practice
 - Private practice
 - Provision of family planning
 - Maternal death inquiry

HFS3

Interview to LHVs (*Lady Health isitors*)and Paramedics

1. Marital status, education, religion, and languages
2. Required training
3. Health facility practice
4. Private practice
5. Reason for not taking antenatal care

3 家庭訪問調査

Household Survey

- ・ イスラマバード首都圏地区
(Islamabad Capital Territory=ICT)

7500戸の家庭訪問調査

- ・ 北西辺境州ノシェラ地区
(NWFP Nowshera District)

8000戸の家庭訪問調査

Household Survey

5 forms

1. Household Information
2. Ever-married Women(Obstetric Data)
3. Maternal Mortality Information
4. Child Mortality Information
5. Health Facility Utilization Data

Sampling

1. Get information on Households
2. Divide into Clusters
203 Clusters
3. Sampling by Radom Table

4 コミュニティ調査

- フォーカスグループディスカッション
地域で草の根的に働いているLHW(Lady Health Worker)、
妊産婦・授乳婦、TBA、義母、夫らとの5種類のグループ
ディスカッション
- 栄養教育調査
貧血を予防・改善するための地域における女性ヘルス
ワーカーに対しての参加型トレーニングの実施・評価

結果

1. 家庭から、中間の医療施設、リファラル病院までを総合的に評価することにより、全体的な弱点、問題点が把握でき、介入プログラムの立案のための優先度の把握が容易である。
2. 実際の地域の医療従事者らへのインタビュー、参加型の質的調査により、地域並びに裨益する女性のニーズに即した介入プログラムの立案が可能である。